



高槻ロータリークラブ  
2016~2017  
WEEKLY BULLETIN

**四つのテスト**

I. 真実かどうか  
II. みんなに公平か  
III. 好意と友情を深めるか  
IV. みんなの為になるかどうか

**事務所** オーロラモール高槻西武6階 〒569-1116 高槻市白梅町4-1  
TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174  
E-mail [takatsuki.rc@bird.oce.ne.jp](mailto:takatsuki.rc@bird.oce.ne.jp)

**例会日** 毎週水曜日 12:30~13:30  
**例会場** オーロラモール高槻西武6階 多目的ホール TEL 072-684-5379

**創立** 1954年6月15日  
**会長** 藤井敏雄 **幹事** 入谷治夫 **クラブ運営委員長** 小阪大輔 **会報担当副委員長** 山室匡史

No.27 2017年2月8日 発行

2月は平和と紛争予防 / 紛争解決月間

第3060回 本日(2/8)の例会

例会場変更 山水館

- ◎ソング...四つのテスト
- ◎卓話 スピーカー...岩井 祐造君  
テーマ...「私の職業奉仕」  
スピーカー...大木 城司君  
テーマ...「電動歯ブラシについて」
- ◎例会後の行事 第3回被選理事会

第3061回 次週(2/15)の例会

2人3脚例会

- ◎ソング...我等の生業
- ◎1月度皆出席表彰
- ◎外部卓話 濱田 剛史 高槻市長  
テーマ「高槻のみらい創生に向けて」
- ◎例会後の行事  
14:00~15:00 いのちキラキラ発表会  
於:阿武野幼稚園  
18:30~ 和食を楽しむ会 於:山水館

※ 2/22 第3回情報集会兼新入会員歓迎会  
18:30~ 於:からさき

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
50名	40名	88.89%
前々回例会補正後出席率	97.87%	
但し、Mup 2名	欠席者 1名	
出席規定適用免除有資格者	3名	

先週(2/1)の例会から

- ◎ゲスト・ビジター 計2名  
2018-19年度地区代表幹事予定者  
宮里 唯子様 (茨木西 RC) ビジネスサービス業  
2008-19年度地区副代表幹事予定者  
山本 和良様 (大阪南 RC) 製造業

◎会長の時間

「軍事研究費」

今月は「平和と紛争/紛争解決」月間です。トランプ大統領が次々に発する大統領令が、米国内外で大きな問題を引き起こしています。間違いなく、大きな紛争の種に発展するでしょう。日本では、トランプ旋風に隠されてあまり話題となっていませんが、昨年の暮れから政府予算の、軍事研究費に批判が集まっています。今年度予算に110億円が計上されており、前年度の18倍にあたるというのです。いくつかの大学が、軍事研究はやらないと声明を出すなど過剰な反応を見せています。

確かに軍事研究と言われれば、人類を幸せにするものではありません。ワシントンのスミソニアン博物館には、原子爆弾と、その開発を大統領に進言したアインシュタインの手紙が展示されています。私は、あの偉大な科学者が「戦争を早く終結させるために」と大統領を説得する手紙を書いていたのを知り、ショックでした。

しかし、軍事研究の成果が民間生活に役立っているのも事実です。ほとんどのIT技術がそうですし、レーザー光線の技術が画期的な商品を生んでいます。つまり、軍事研究と民生研究の境は明確ではありません。そして、知らない間に軍事研究をさせられている事もあります。私も、シンガポール駐在中に、シンガポール大学との共同研究が、先方にとっては軍事目的であったという苦い経験があります。

最近、大学もグローバル化されて海外との共同研究も盛んに行われています。先ほどの大学も、委託研究の中味をよく調べてみる必要があります。何故かといいますと、米国の軍事研究費は10兆円だそうです。日本の110億円の1,000倍です。トランプさんからすれば、日本は何もして

いないと映るでしょう。しかし、その大きな予算は日本の技術を求めて、相当額、流れてきている事は容易に想像できます。

私は、軍事研究という言葉だけで、ヒステリックにならず、いろんな現実としっかり向き合う必要があると思います。北朝鮮が高い核技術を持つに至ったこと、中国やロシアが内政の失敗を海外に目をそらせる拡大覇権主義、変わってしまうかもしれない米国、逆に日本の技術が海外から巧みに利用されている現実、もっとしたたかに、自分たちを守ることを考えないといけないと思います。

少し話が大きくなってしまいましたが、平和と紛争を考える月間にちなみ、思うところを述べさせていただきます。

## ◎幹事報告

- ・2月のロータリーレートは 1 \$ = 116 円です。
- ・2016年度手続要覧の希望者は回覧を回しますので、お申し出ください。1冊 6.00 \$ です。
- ・皆様の手元に確定申告用の領収書を配布しております。再発行はいたしませんので、大切に保管いただきますようお願いするとともに、今一度、お手元の領収書のお名前の確認もお願いいたします。
- ・大阪ユニバーサルシティ RC、豊中南 RC より例会変更および休会のお知らせが届いておりますので、メーキャップの際は事務局にご確認ください。
- ・地区より「世界 RACDAY」のご案内が届いております。世界 RACDAY とは、最初のローターアクトクラブが認証された記念日である3月13日の前後1週間、ローターアクターの仲間意識の向上を図るという主旨のもと開催されます。多数のご参加をよろしく願います。

日 時：2017年3月12日（日）

受付開始 12:00 閉会予定 16:00

場 所：大阪産業創造館

内 容：「世界の福祉」について（卓話）

講師：大阪南 RC 北嶋 勇志 様

「ユニバーサルマナー」を考えよう！

登録料：無料

## ◎委員会報告

- ゴルフ同好会 佐々木 隆幸  
雨天順延になっておりました第2回高槻市内3RC  
ゴルフコンペを開催いたします。ご参加のほどよろしく願います。

日 時：2017年3月12日（日）

集 合 9:20 パター練習場前

スタート 9:52

場 所：亀岡カントリークラブ

参加費：10,000 円

- クラブ運営委員会 小阪 大輔  
・次週（2/8）例会は山水館での開催となります。  
12:00 に西武前より送迎バスが発車しますので、バスに乘車される方は遅れないようお集まりください。
- ・2/22（水）第3回情報集会 兼 新入会員歓迎会が開催されます。会費は、お1人様 ¥6,000- です。  
ご参加くださいますようお願いいたします。

## ◎卓話

「天皇と私と兵士たち」 井前 憲司

昨年8月8日今上天皇が「おことば」を述べられました。憲法の枠を踏み外さないよう慎重に言葉を選びつつ、年令に伴う譲位の希望や後継者のこと、全身全霊で象徴としての天皇の務めを果たされていることなどについて国民に向けて真摯に表明されました。象徴としての天皇の難しいつとめの中で、大切にされているのは、国民の悲しみに寄り添うこと、先の戦争で命を落された人たちへの慰霊の旅などを挙げておられます。

今日の卓話は、昭和天皇と今上天皇がどのようなお気持ちで、嘗ての激戦地での慰霊を続けておられるかを考えることで、一国民としての答えの一部を見出したい。

今、天皇退位を考える有識者達が集められましたが、どうも国民の意見を代表するものではなく、中には天皇は勝手に仕事を作らず奥で祈っておればよい、慰霊や震災見舞いは天皇の役割ではないという、ものもいます。また昔の事例を挙げ各種リスクをもちだしたりしていますが、昭和天皇から皇太子さんの態度や発言を見ている限りバカなことは起こりうるわけがない。なんかの拍子で皇族からランプみたいなものが出てきたら、改めて考えれば良いのではと思います。ただ、いつのまにか天皇退位の段取りや元号改正が、天皇のお気持ちを忖度しないまま進んでいるようで心配です。本当に有識者といい首相といい、今生天皇の気持ちを理解しようとしないう、底の浅はかさに寂しさを感じます。

私は、若い時に少し、ハンセン病にかかりました。インパール・ガタルカナル・ノモンハン・硫黄島・ルソン等々の生き残った人の体験記を読んで、いたいげな心を痛めたものです。そこで書かれている嘗ての兵隊たちの筆舌に尽くしがたい苦勞に、平和な時代に生きる私はどう向き合っていけばいいのか。今日はそれを改めて考えるきっかけとして、日頃滅多に使わない天皇をタイトルに使わせていただきました。正確には「天皇と『私と兵士たち』」です。二人の天皇がされている慰霊の旅と私と、そして死んでいった兵士たちということで話を進めます。

さて、各地の戦線で兵隊たちはなぜそのような普通でない死に方をしなければならなかったのか。答えは多分簡単で、無謀な戦争に突入していったからでしょう。今の日常で突然赤紙が来て、さあ1kgの鉄兜・4kgの小銃・10kg以上の携帯口糧その他を担いで、熱帯の地に行けと言われてたらどうだろうか。しかも兵器・食料を運搬する輸送船は大部分撃沈され、その結果戦地での食料が途絶え、撃つに弾無しの状態が続く。

私は、幸いにも南方で、絶食経験を2回ばかりやっています。その時は弾丸も飛んでこず（言葉の暖かい弾は飛びましたが）、手ぶらで歩ける状況ですし、帰りの飛行機の予約も取れていました。それがあなた、どうした、ということなのでしょうが、しかし10日以上、場合によっては月単位で食料が無く、ジャングルや山岳地を進軍し、と言えはかっこがいいですが、多分飢餓状態になって逃げまどい死んでいった人たちはどうだったか。

また戦死に至る場面は餓死だけではなく、もっと様々でしょう。この戦争で軍人は230万民間人は80万人亡くなったとされています。また周辺海外の方は2,000万人が犠牲になりました。

そこで、食料・武器弾薬の補給をないがしろにした戦いは、いつから始まったのか。歴史を少し手繰ってみると、補給計画が杜撰になったのは、南京攻略からではなかったか。陸軍の現地部隊が中央の許可なく上海から南京に攻め入った時、食料は計画外だったため現地調達せざるをえなかった。その悪習とその後に実力以上に戦線を拡大した結果、南方に行った大量の兵隊たちは、必然的に飢餓に陥り、餓死していくことになったのでしょうか。戦死の原因はまた、敵情報や地形情報の不足も大きい。開戦の詔勅を出した昭和天皇はこうした無念の戦死を遂げた人人を慰霊されていたと思います。

今日はどういう歴史の因果で、こうした愚かな戦争に至ったか私なりに考えたことを述べたいと思います。理解不足や誤解があれば是非修正をお願いいたします。

敗戦への道を、日露戦争・ペリー来航・満州事変をつないで、考えました。

日露戦争はどうして始まったか、ですがともかく日本の先制攻撃からです。真珠湾の時は、宣戦布告の国際法が整備されていたので60分の通告遅れでアメリカから卑怯者と罵られました。しかし日露戦争や日清戦争の時は、これが無かった。ロシア恐ろしの深層心理が、旅順艦隊に向かつての先制攻撃となった。それに至るまでに政治面では伊藤博文が大国ロシアとの戦争は避けたいとモスクワで交渉したが、ロマノフ皇帝に東洋の赤猿と全く相手にされなかった。またドイツ・英国との同盟の道を山県有朋などが主張し、日英同盟ができた。イギリスはボーア戦争に手を取られていたことや、シベリヤ鉄道の完成が中国での利権を脅かす懸念もあって日本を応援しようとの同盟であった。また旅順艦隊への攻撃が最初に行われたのは、前年ロシアの軍艦が日本周辺で民間の船や海外の商船を攻撃し国民が激昂していたことや、戦術的にはロシアの大部隊がいる中国への進攻・補給に海路確保が急務であったからである。この戦争での陸路の戦いはおおむね順調であったが、この旅順軍港の閉鎖がなかなかできなかった。またバルチック艦隊が欧州から回航してくるという情報ははいり、日本の生死がいよいよかかってくるため、海軍はやっきとなって第3軍の乃木将軍に203高地攻略を督促するようになった。この山は味方陣地からの弾道の観測や直接砲撃点として重要と思われるようになった。で、この戦いで、1.2万人の死傷者をだしました。想像するに、当時は学生帽のような軍帽であったため要塞の上から7.6mmの機関銃の銃弾で射撃されれば、その生地を簡単に貫通し頭蓋骨が破碎され内部に侵入する。こうして鉄条網の手前で兵士たちが折り重なるように死ぬこととなり、後に有能であった乃木は無能将軍と罵倒された。私も中国訪問の時に、この203高地とロシアのトーチカを見てきました。この大地の下に多くの血が流されたのかと一種の感慨がありました。当時珍しい電流付き鉄条網守備で何重にも備えており、小さい銃眼からの機関銃射撃に対しては下からの突撃は全く歯が立たなかった。少しそれますが、嘗ての中越国境戦争の時、毛沢東中国の兵隊はベトナムの機関銃守備に対して中国兵は死んでも死んでも攻めてきたため怖かったとの記事がありました。ガタルカナルの飛行場攻撃の映像があります。夜間水を張った塹壕に日本刀などを振りかざして米軍に立ち向かう日本兵がごとく機関銃で射殺され全員死んでしまう。ゾッとしました。乃木さんの第3軍も同様の戦術だったのでしょう。要塞攻撃は本当に難しい。旅順攻略で6万人が死んでいます。武器について先立つ南山の戦では日本軍も相当程度の機関銃を用いています。ちなみにロシア10挺、日本は48挺で一日の戦いで約8万発、これは弾丸生産量の4か月分に相当します。ちなみに西南の役の田原坂では30万発、全体では500万発の戦でした。203に戻りますと、どうして攻略したかということ、まずZ字型の塹壕を掘り進め、鉄条網を切断し、要塞下部に穴を掘って3トンのダイナマイトを爆発させる。と同時に、海軍から借りた後方からの29センチ臼砲で要塞の上からの破壊攻撃を行った。これが功を奏しました。皮肉なことに、高地攻略が終了した時点では、目標である旅順港のロシア艦隊は大部分自沈して戦力にはなっていませんでした。が目先の主要要塞が無くなったので、日本全軍はロシア軍を追って奉天まで攻め込みました。旅順・奉天間は大体東京・神戸くらいでしょうか。この寒冷地攻撃研究のため八甲田山で、210名中199人が遭難しました。奉天での全軍突撃時には弾薬はほぼ尽きていたのですが、アメリカ大統領ルーズベルトの講和提案があり、相手のロシアも限界に達していた為講和が成立した。日露戦争では、財政面の心配が開戦時からあ

りました。高橋是清がアメリカ・ロンドンにわたり公債の募集をしていたが、幸いにロシアから迫害を受けていたあるユダヤ財閥からロシアと戦うならということ公債を引き受けてもらえた。その後勝利につれ、公債の発行が非常に容易になった経緯があります。海戦でもバルチック艦隊は、回航中にロシア革命がおこり船員の士気低下やインド洋湾岸や中国に勢力を持っているイギリスの非協力で陸地からの補給が受けられないというハンディがあったこと、ロシア11月革命が起こり戦意も衰えていたことなど、また日本海での艦隊決戦の幸運な勝利によって戦術上は優位に終わった。

さて、日露戦争のきっかけはどこにあるかという、今言ったロシアの脅威にあるのですが、ではそれに先立つ日清戦争を調べる必要があります。これはペリーの来日に端を発する不平等条約の締結と、その克服過程での経験からなっています。(ちなみにアメリカのペルー艦隊もイギリスの協力を予め求めた上で、はるばる喜望峰を回ってやってきた。)幕末に紆余曲折はありましたが、維新成立後岩倉使節団の最初の訪問地アメリカで歓待を受けていたと思っただけならパンチを食らわされます。条約改正を持ち出したところ、正式な全権委任状がないからダメだ、と言われその後の明治をリードした若き日の重鎮、伊藤と山県が4ヶ月かけて取りに戻ったところ、今度は拷問が横行している野蛮な国とはできないと袖にされてしまった。使節団約100名はその後約2年間をかけて法律・兵法・産業振興・医学などを欧米で学んで帰国するなどアジア諸国には無い経験をし、一歩抜きんでました。万国公法という国際規約で先進諸国は他国を植民地化していることをよく理解しました。大国中心のこの考え方の厳しさを骨身にしみた日本は、韓国に対して逆に開国を要求していきました。しかし、この韓国は清の属国として自ら世界を知ろうとしないばかりか、清は自分が世界の中心との考え(華夷秩序)をしていた為、この2つの国は世界の趨勢からはピンぼけ状態になっていた。

開国を要求する日本の武力攻撃(江華島事件)に対して、韓国の宮廷は清(しん)とロシア頼みに傾き、この過程で清国の軍隊がひそかに侵攻してきたため東郷艦長(大佐)がイギリス国籍の客船を撃沈(1100名の清兵が乗船)したことなどから、清海軍との海戦が始まった。幸い韓国内での陸戦でも海戦でも日本は圧勝した。ちなみに勝海舟などは中国とは仲良くしなければ外国勢に攻め込まれると警鐘を鳴らしていた。が、日本はこの戦争に勝ったことで、なにがしかの領土と賠償金を獲得した。ここがポイントですが、負けた全権大使の李鴻章は、その後ロシアと密約を結び旅順に要塞と南満州鉄道(東清鉄道)の敷設権を与え日本を牽制しようとした。(辛亥革命の孫文と権力争いに勝った袁世凱が公使であった。)さて、この東清鉄道が後の満州鉄道で、第一次大戦後権利を拡張した日本軍は柳条湖事件・盧溝橋事件など満州事変を始めたが、そのきっかけとなるのがこの戦争でした。

日露戦争やその後の北清事変、この戦争には会津藩士の柴五郎という人が大活躍しました。(この人の数奇な経験が本になっています。北京籠城日記)又第一次大戦では、ドイツの敗北で青島や南方諸島を獲得しました。ここまでは、比較的順調でした。不思議なことに、清との戦争でも中国全土で戦わず、ロシア戦争でも中国のほんの周辺部での戦いでした。期間も日清は9ヶ月、日露は1年半です。

しかしその後は違います。満州事変以降は戦争の性格を変え、期間も4年と泥沼化とアメリカの参戦を来す戦いになりました。天才と言われた石原莞爾はアメリカとの戦争が最終的に起こると予想し満州の資源を活用して準備すべきとの思いで、謀略で満州を手に入れました。しかし、関東軍→日本政府は満州を友好的に使うことはせず、隷(しもべ)のような扱いをした事による反日、や蒋介石の実力と戦略を見誤ったため国政世論や国際法を無視して、上海から重慶(鹿児島・青森間以上の距離)まで攻め入って、援

蔣ルートつぶしから結果としてアメリカと対決せざるを得ないようにしてしまった。アメリカの体質は、ペリーの日本派遣でもフィルモア大統領は彼に決して手荒にするな、ただし部下や貴官が侮辱を受けた時は徹底的にやっつけて良いという訓示を与えています。真珠湾の宣戦布告1時間遅れの報復は、非常に残酷なものとなり、天皇の慰霊に繋がります。原爆投下・沖縄決戦等々あげればきりがありません。最悪なものでした。日米戦の経緯や終戦までの政府・皇室・軍部の物語りはたくさんあります。

今日の卓話の中では、触れることが出来ませんでした。植民地大国のイギリス・フランスやドイツ・ロシアの領土を巡る巧妙な戦略のなかで日本はどう生き延び、成長？し、負けていったか。また時間軸を昭和初期に絞って、軍部の台頭・国民世論の形成とマスコミによる操作・三国同盟に至る松岡の動き、ハルノート、終戦直前の御前会議の状況など検討すべき事があるのですが、今日は昭和・今上天皇の戦没者慰霊が大切な、また余人を持って代えられない重要な役割を、日露戦争・ペリー来航・満州事変を通じて見てきました。ご静聴ありがとうございました。

## ◎例会後の行事

### 2月度定例理事会

開催日 2017年2月1日(水) 13:40~14:30 (於 事務局)  
出席者 藤井・入谷・朝倉・清水・松尾・浜田・小阪・石田・内本・河合・古川・大木・長山  
オブザーバー:井前

欠席者:片山・伊藤 (敬称略)

議事 議長は藤井会長にて議事進行

### 前回事務録確認

〈異議なく承認されました〉

議長:細則変更について、今後どういう風にまとめていくかと言う事については、長期戦略委員会の意見伺い、またもう少し一般のご意見も聴きつつ、基本的には今年度中に細則の変更をまとめていきたい。私の考えとしては、前回事務録で有った例会のあり方や会員資格の問題について今後も継続して議論することを前提に、大きな変更はしなくていいと思う。私、入谷幹事、伊藤副会長、浜田エレクト、清水研修委員長のメンバーで検証して、3月理事会に報告したい。

### 議案①会計報告

河合会計:資料に基づき説明 〈異議なく承認されました〉

### 議案②二人三脚例会の件

議長:二人三脚について取り組みはどうか?どなたか少し説明願います。

長山:青年会議所の仲間で自動車販売店のかたを一人来ていただくお約束をしている。

松尾:3人候補がいる。そのうち一人の皮膚科の医師にお誘いしている、日程調整中。もう一人幼稚園の園長先生をお誘いしているので、どちらかお1人は来ていただく予定です。

議長:西田会員より、2人ほど来ていただけるようにしていただいている。

大木:水無瀬の建設会社の方に来ていただけると聞いている、確認中です。

議長:私も一緒にご説明・増強に行くならいつでも何うのでアレンジしてください。

朝倉:せっかくの二人三脚なのでとにかく来ていただければと思う。

小阪:声がけている方がいるので、日程があえば一人来る予定です。

入谷:銀行関係で三井住友信託銀行の支店長をお願いしてみたが、本部の判断があるので難しいとの事だった。

清水:バブル崩壊後一挙に銀行関係の会員が退会した経験がある。またまだその気風が残っているのでは。もう少し時間がかかると思う。

議長:概ねそういった状況で、5名以上の参加があると分かった。いっそう努力をお願いしたい。

### 議案③国際大会へ参加の件

入谷:6月のアトランタでの国際大会。藤井会長夫妻、浜田会員、小坂会員、私と家内の6名の参加が確定している。それ以外に東ロータリーの斎藤会長、浜田幹事と他2名の計10名で参加となる。ニューヨーク、アトランタ、サンフランシスコと視察を兼ねて参加いたします。ご参加希望

があればまだ受付けいたします。よろしく申し上げます。

### 議案④2017~18年度IM実行委員長選任の件

議長:高槻が担当する2017~18年度IM開催について被選理事務会で決した事がある。浜田エレクトから報告願います。

浜田:被選理事務会にてIMの実行委員長に朝倉会員に願う事が決し、委員については今後決めてまいります。

議長:今年度理事会にて審議いたしたいと思います。

〈異議なく承認されました〉

浜田:2018年2月17日、会場は万博のホテルで決まっている。内容については今後詰めていきます。

朝倉:実行委員会で前回の資料を見ながらすすめていきたい。

浜田:予算は別会計で各ロータリーから頂戴するので、予算的には問題がないと考える。

議長:そもそも昨今IMの参加者が少ないと思う。今一度例会などでIMの意義や参加の必要性を説きたい。

清水:地区大会、IM、情報集会は出席義務があると言う事を会員に理解される必要がある。

### 議案④緊急連絡網について

長山:週報と同様の方法で、メール発信を主な手段として考えたらどうか。

議長:アンケートなどを取って整備したらどうか?

浜田:週報が届くメールアドレスと、緊急性のあるメールアドレスを同一にするには心配がある。

入谷:改めてアンケートを取るなど策を致したい。

### 議案④週報について

議長:週報をペーパーレス化して半年経ち、事務局濱田さんのお陰もあって大変うまくいっていると思う、何か意見は。

朝倉:なるべく事務局に負担のかからないように。

小山:卓話の内容をデータで事務局に出すと、ずいぶん違うと思います。

浜田:原稿については出ない場合は、従来通り要約を事務局でまとめていただき、載せると言う事でどうか?今後も出来るだけ卓話者自身で内容を纏めたものを、事務局に提出していただくよう、引き続きお願いする。

## ◎ニコニコ箱報告

- 誕生記念内祝 深野君
- 結婚記念内祝 藤井君 (宮里様、山本様、例会にご出席いただきありがとうございます。)

西田君、(ありがとうございますご座居ました。)

- 入会記念内祝 入谷君、西田君、篠原君
- 創業記念内祝 川畑君、奥田君
- その他 藤田 (芳) 君
- 先日は亡父の葬儀に参列いただき、又、多くのお花を頂戴しましてありがとうございました。尚、今後は亡父になりかわり地域に貢献できるようがんばります。

古川君

- ややこしい卓話をお聞きいただき有難うございます。

井前君

- 各記念月御祝の皆さん、おめでとございます。河合君
- 宮里代表幹事、山本副幹事、2018-19年度お世話になります。よろしく願い申し上げます。又、1月22日のロータリー未来塾には皆様大変お世話になりました。 松尾君

本日の合計 ￥ 93,000-

7/1よりの累計 ￥1,543,000-

## ◎R 財団への寄付

藤田 芳一君 ￥10,000- 入谷 治夫君 ￥5,000-

河合 一人君 ￥5,000- 西田 直弘君 ￥10,000-

本日の合計 ￥ 30,000-

7/1よりの累計 ￥ 575,000-

一人当たり平均 \$ 101.16

## ◎米山奨学会への寄付

藤田 芳一君 ￥10,000- 入谷 治夫君 ￥5,000-

西田 直弘君 ￥10,000-

本日の合計 ￥ 25,000-

7/1よりの累計 ￥ 472,500-

〔 会員より ￥225,000- 〕  
〔 クラブより ￥247,500- 〕

一人当たり平均 ￥9,642-